

公共施設の未来を考える

〈特集〉公共施設マネジメント

市役所、学校、自治会館、保育園など、皆さんが普段利用している公共施設。人口減少社会を迎える今、公共施設には全国的に大きな転換期が訪れようとしています。

維持や管理にどれだけの費用が必要になるのか、次世代へ公共施設を残すために今、私たちに何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

☎企画課 ☎70・5635

知っていますか？ 公共施設のこと

公共施設はいくつある？

皆さんは市内にいくつ公共施設があるか知っていますか。学校や自治会館、地区センター、児童館、スポーツ施設など全て合わせて約80施設あり、延べ床面積は約19万平方メートル、東京ドーム約4個分にも及びます。そのうち約7割は人口が急増した昭和40年～50年代に建設された建物で、老朽化が進んできています。

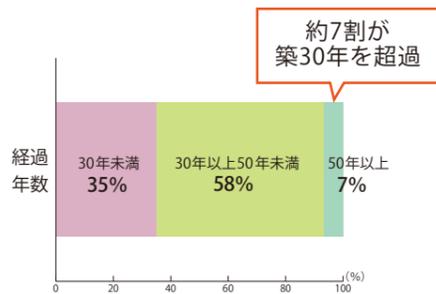
老朽化対策に〇〇億円!?

老朽化した施設は今後、改修や建て替えを行う必要があります。では、一体どれだけの費用がかかるのでしょうか。市の推計では平成28年度～令和37年度の40年間で約1000億円と見込んでいます。これまで施設整備に充てていた金額(約15.7億円/年)を今後も投資できたとしても、約330億円の財源不足が見込まれています。

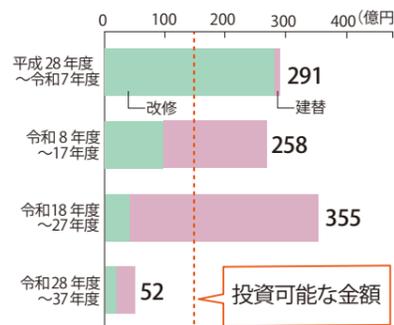
綾瀬の人口、どれくらい変わる？

緩やかな人口増加を続けてきた綾瀬市も、今後20年間で、現在の人口の約10%にあたる約8000人が減少すると予想されています。特に働く世代が大きく減少し、反対に高齢者数は増加することから、市の主要な財源である税収の減少や社会保障費の増加が予想され、今後ますます厳しい財政状況となることが考えられます。

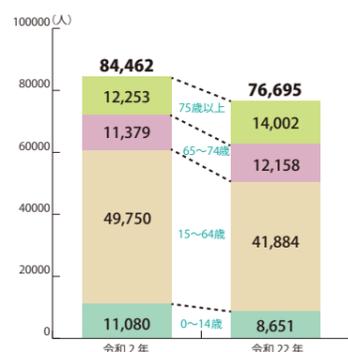
公共施設の経過年数



改修・建替費用の推計



20年後の綾瀬市人口推計(単位:人)



施設は古くなっていくけど、人口も減っていくから、今ある全ての公共施設を維持するにはお金が足りなさそう...

次世代に引き継ぐために

サークル活動や自治会の集会、災害時の避難所など、市民生活や行政サービスの充実のためには公共施設は欠かせません。しかし、施設の老朽化や将来の人口減少を考慮すると、今ある全ての公共施設を将来も同じように維持していくことが難しい状況です。

安全・安心に利用できる公共施設を

次世代に引き継いでいくために、現世代の私たちが公共施設の在り方を考える必要があります。

そのための方針として、市では「綾瀬市公共施設マネジメント基本方針」を策定しています。同方針では次の3つの考えを柱としています。

綾瀬市公共施設マネジメント基本方針の3つの柱

- 施設の総量の適正化・適正配置
- 適正な維持管理の推進・財源確保
- 長寿命化の推進

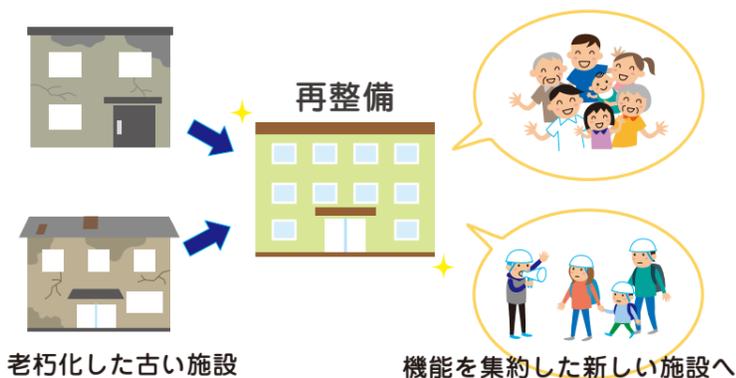
具体的にはどんなことに取り組んでいくの？



<主な取り組み>

1 [地域施設] 施設の集約化などにより新しい施設へ

自治会や地区センターなど地域の皆さんが普段利用している施設は、自治会のエリアごとに地域の実情に見合った形で施設を再整備することで、多世代が交流でき、災害時には防災拠点となるような、新たな地域コミュニティ施設を目指します。



基本方針に基づき、今後、公共施設マネジメントを進めていくために、現在、市は公共施設再編計画(仮称)の策定に取り組んでいます。

同計画は、自治会館や地区センターなど皆さんの身近にある「地域施設」、市役所や市民文化センターなど市内で1つしかない「市域施設」、小・中学校の「学校施設」の3つの分類に公共施設を分け、それぞれ施設の再編を進めていく予定です。

2 [市域施設] 市役所周辺の再整備

市役所周辺の中心市街地は、商業施設や整備予定の道の駅などを含め、エリア一帯が新たなにぎわいの場となり、居心地が良く、歩きたくなる場所を目指しエリア全体の再編を検討します。

エリア内にある市民文化センターは老朽化が進んでいるため、公共施設マネジメントを踏まえた施設再編を検討します。

3 [学校施設] 老朽化に対応した再整備

小・中学校は昭和40年～50年代に整備されたものが多く、中には築50年を過ぎた建物もあり、老朽化が進んでいます。今後、児童・生徒数の減少も見込まれるため、今だけでなく、将来の子どもたちのことも考えた建て替え・長寿命化などを行い、学習環境の質の向上を目指します。

未来の綾瀬へ引き継げるよう、時代に即した新たな施設に生まれ変わることを期待します



綾瀬市自治会長連絡協議会会長 鈴木 定公さん

公共施設の老朽化問題は全国的な課題として耳にしています。自治会館など、これまで利用してきた施設は、新しく建て替えることができれば一番ありがたいですが、人口の見通しや今後の施設の建て

替えにかかる費用を考えると、今のままの形で将来も施設を維持し続けることは困難であり、今の世代の私たちが、次世代のことを考え、公共施設問題を考える必要があるのだと感じています。

今の施設が将来的になくなると思うと少し寂しい思いもしますが、地域のコミュニティの拠点やにぎわいを生む施設として、時代に合った、新しい形の公共施設として生まれ変わることを期待しています。



公共施設再編計画の策定スケジュール

- 11月下旬から12月下旬
- ・同計画のパブリックコメント実施
 - ・市民説明会を開催予定

来年3月

- ・同計画を策定

市が取り組んでいる公共施設マネジメントの情報や「綾瀬市公共施設マネジメント基本方針」は、市ホームページに掲載しています。

■掲載ページ

トップページ ▶ 市政情報 ▶ 計画・政策 ▶ 公共施設の見直し



市ホームページをぜひ見てください